



## 駅での環境配慮

大江橋駅では地上から太陽光を取り込み、地下階の壁面・床面に自然光を照射することで、消費電力を年間約500kWh、CO<sub>2</sub>排出量で年間約300kg削減。なにわ橋駅でも太陽光採光システムで消費電力を削減しています。

また、中之島駅・大江橋駅・なにわ橋駅では、駅冷房によって発生する熱を直接大気に放出するのではなく、河川水に吸収させることでヒートアイランド現象の緩和に貢献しています。

**特集** 水都大阪の  
新たな歴史が始まる

先進的な取り組みで  
より安心して人と環境にやさしい  
鉄道を実現



## 人にやさしい駅

中之島線の各駅では随所にバリアフリー対応を施し、安全と安心のための設備を整えています。「波型手すり」はその一例で、手すりに水平部分があることで、体が支えやすく、膝への負担が従来の手すりの3分の1以下になるという測定結果が得られています。



## モーダルシフトなどによる環境効果

新型車両3000系の電気消費量は、従来車に比べ約30%を削減。これによりCO<sub>2</sub>排出量を年間約3,500t削減できます。

また、中之島線の整備による自動車交通の削減量は、1日約18,000台と想定され、これによるCO<sub>2</sub>排出削減量は年間約9,504t、窒素酸化物削減量は年間約49tとなります。



## 万全の地震対策

駅をはじめとした中之島線の本体構造物は、阪神大震災後に制定された「新耐震基準」に準拠した耐震性を持っています。また、上町断層を横切るなにわ橋駅～天満橋駅間のトンネル部分では強靱なダクタイル（鋳鉄）セグメントを使用し、想定できる地盤の変形ではトンネルが崩れないようになっています。

## 快適性を追求した新型車両

主に中之島駅と出町柳駅を直結する「快速急行」の新型車両3000系の座席には、東レの最高級スエード調人工皮革「エクセース」を鉄道車両として世界で初めて採用。ハイグレードな快適性を追求しています。



## アートエリアB1

「なにわ橋駅」の地下1階コンコースの一部を、中之島エリアの文化・芸術の創造と交流の場として活用することで、「コミュニケーション空間としての駅」を提案しています。「アート」「知」をテーマにしたさまざまなプログラムを実施しています。

